

令和 2 年 4 月 22 日

穎明館生の皆さんへ（保護者各位）

穎明館中学高等学校の生徒の皆さん、元気に過ごされていますか。校長の橋本です。休校期間が長くなり、ストレスを感じている人も多いことでしょう。心身ともに健康第一です。規則正しい生活習慣を維持していますか。ウイルスに負けずに免疫力を高めるためにも栄養、睡眠、適度な運動をとりましょう。先生方から指示された学習課題には、計画的に取り組むことができますか。完璧でなくていい、全力で取り組んでください。自宅で長く過ごす中で、お手伝いなども進んでやれるといいですね。

まだ穎明館の制服で登校していない 1 年生、中学棟に移った 2 年生、中学最上級生としてリーダーシップを発揮する 3 年生、高校に進学した 4 年生、学校行事・部活動の中核になる 5 年生、そして受験勉強に励む 6 年生……皆さん穎明館生のことをあれこれと考えていて、私から改めて直接メッセージを送ることにしました。

すでに学年の先生方からは、学年通信でのメッセージや教科書をはじめとした郵送物などで、連絡や指示が送られています。現在は緊急事態宣言が発令されており、感染拡大防止のため教職員も少人数、分散して出勤している状況です。今日は、「やっと連絡が通じた。生徒の声を聞いて安心した」と、ある担任の先生は微笑んでいました。また ICT チームの先生方は、研修会に取り組んでいました。思うようにならない勤務時間の中でも、生徒のために、今後の教育活動のために、全力を尽くしている先生方の姿がありました。ところで、コミュニケーションツールとして導入した Classi には当初、アクセスが集中したこともあり、接続できずにご迷惑をおかけしてすみませんでした。最近は時間帯にもよりますが、つながりやすくなりましたね。4 月中は無償対応でしたが、5 月からは費用が発生するので学内で検討し、学習指導上のコミュニケーションツールとして今後も活用していくべきとの結論に至りました。協力的な対応と有効活用をお願いします。

さて、世の中に目を転じてみると、日々、溢れかえる情報の中で、私たちの不安や心配をかきたてるような言説も数多く見られます。私たちが一番忘れてならないのは、医療従事者をはじめ、今という時代、社会を懸命に支えている人たちへの感謝の気持ちです。「Stay home」と言われて「安心して家にいられることへの幸せ」を自覚しなくてはいけない。また、著名人やアスリートの中には、「今できることに精一杯取り組もう」と力強いメッセージを送ってくれる人もいます。今できることは何でしょうか。私の場合は、感謝の気持ちを力にして、健康に過ごすこと、学ぶこと、伝えること、そして明日の教育のために準備をすることです。

最近、時代を反映してベストセラーになっているアルベール・カミュの『ペスト』を読み直しました。皆さんもぜひ読んでみてください。熱病の蔓延する封鎖された街の光景や人物劇は、まさに現実を象徴するかのようです。ストーリーもさることながら、私は主人公の医師リウーの次の言葉が印象に残りました。

「これは誠実さの問題なんです。こんな考え方はあるいは笑われるかもしれませんが、しかしペストと戦う唯一の方法は、誠実さということです。僕の場合には、つまり自分の職務を果たすことだと心得ています。」

非常時、緊急時にこそ、人間としての誠実さが問われるように思います。

今、生徒の皆さんには誠実に学ぶ力が問われています。穎明館では従来から授業はもちろんのこと、学校行事や部活動も生徒の主体性を育む目的で活発に行われてきました。今回の経験は、「受け身の授業で知識を授けてもらうのが当然とされていた教育」から「自ら問いをたて、探究し、主体的に学ぶ姿勢を培う教育」に変えていくのかもしれませんが。この主体性を伸ばす教育は、本校穎明館が目指し、力を入れてきたものです。校風、伝統の力を信じたい。

また、休校が長びくほど生徒の学力差を広げるとも言われています。自習のできる子は伸びる。穎明館には学びを放棄している子はいないはずですが。目安となるGW明けまであと2週間ほどになりました。もう一度、自分自身を見つめ直して、学習に誠実に取り組むことを期待しています。

私たちは学校再開、予定通りに始業式が迎えられることを信じて準備を進めていきます。その一方で、感染状況によっては、教育活動をすぐに元に戻すことは難しいとも考えています。今後の推移を見守り、政府・東京都の方針、学校再開に向けてのガイドライン、そして本校の学校医先生のご助言などもふまえつつ、いろいろなケースをシミュレーションして備えていきます。今後の予定については、検討を重ねた上で決定次第、お伝えします。一斉メール、ホームページに注意をしておいてください。今は非常時、緊急時というピンチですが、教師と生徒、学校と家庭という信頼関係を深めるチャンスにできれば幸いです。不安、心配なことはどうぞ相談してください。再び学校にて、お互いに笑顔で会える日を願って頑張りましょう。

結びになりますが、保護者の皆様、休校期間中、様々な面でご心労の日々かと存じます。どうかご家族で十分に気をつけてお過ごしください。私たちもでき得ることに精一杯取り組んでまいります。その中で、とくに ICT 関係では、これからも急なお願いをさせていただきますがご協力ください。今後とも穎明館教育へのご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

【穎明館モットー】

「 仁智は無窮

穎才を研きよき地球人たれ 」

創立者 堀越克明